

科目名		義肢装具学実習	教員名	有田真己 高尾敏文 外部講師	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	演習	オフィスアワー	別紙参照	
授業概要		各種の義肢装具教材に触れながら、実際に分解、組み立て作成作業を通じて、義肢装具に関連する基本的なそれぞれの役割について理解を深める。							
目的・目標		目的:義肢装具やそれに関連する項目について体験を通じ、臨床場面における具体的な活用および役割について理解する 目標:①:臨床で用いる義肢・装具、および関連用具について製作や体験をする。 ②:臨床で使用される義肢装具の種類、特徴、機能を体験する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション 足底板の作成		到達目標:足底板による治療方法を理解する。 学習内容:足底板によるバランス・動作・歩行分析を学習する。					
	2	上肢スプリントの作成		到達目標:上肢スプリントの有効性を理解する。 学習内容:上肢スプリント(カックアップスプリント)作製を学習する。					
	3	長、短下肢装具の採寸		到達目標:採型およびトレースの作成を理解する。 学習内容:長・短下肢装具の採型およびトレースを学習する。					
	4	座位保持装置の作成		到達目標:座位保持装置の有効性を理解する。 学習内容:座位保持装置のチェックポイントと作製を学習する。					
	5	プラスチック短下肢装具の陰性モデル作成		到達目標:プラスチック製短下肢装具の作製過程を理解する。 学習内容:プラスチック製短下肢装具の採型・陰性モデルを作製を学習する。					
	6	大腿切断における異常歩行1		到達目標:大腿切断における異常歩行の原因、対処法を理解する。 学習内容:異常歩行に対し、大腿義足の問題、切断者の問題について学習する。 (外部講師;幸和義肢)					
	7	大腿切断における異常歩行2		到達目標:大腿切断者における歩行分析を理解する。 学習内容:動画を用い、大腿切断者の歩行を評価し、義足の調整を学習する。 (外部講師;幸和義肢)					
	8	義足体験、断端管理、切断者に対する理学療法		到達目標:義足における膝継手、足部について理解する理解する。断端管理、義足訓練を理解する。 学習内容:体験義足を用いた義足体験、soft dressing、義足装着訓練を学習する。 (外部講師;幸和義肢)					
成績評価の方法・基準		製作技能(45%;第2・4・5回×各15%)、レポート課題(45%;第1・3・8回×各15%)および課題テスト(10%;第6・7回)を評価とする。 (オンライン時:各授業課題で合計100%)							
教科書		15レクチャーシリーズ・義肢学 第2版 15レクチャーシリーズ・装具学 第2版			石川 朗 石川 朗		中山書店 中山書店		
参考図書		義肢装具のチェックポイント 義肢装具学テキスト 装具治療マニュアル			日本整形学会 細田多穂編 加倉井周一・初山泰弘編		医学書院 南江堂 医歯薬出版		
教員からのメッセージ		義肢装具士の資格を持つ外部講師および総合病院において装具治療の経験がある教員が指導します。							